

令和 7 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	31	学 校 名	清水東高等学校	記 載 者	井島 秀樹
------	----	-------	---------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	いじめの根絶	・いじめに対するトラブルの事前防止 ・いじめへの対処の確実な実施 ・ネットに関するトラブル：0 件 ・「誰に対しても相手の気持ちを大切に接している」と答える生徒の割合：95%	A	A	・いじめは絶対に許さない行為であるとの認識をほとんどの生徒が共有している。 ・加害者となったときの裁判例等を生徒に示すなど、更なる啓発をお願いしたい。 ・静岡県警の「自転車の違反行為に関する交通反則通告制度」に関する解説動画の（生徒・保護者の）視聴を必須にすべきである。 ・命に関わる学校内外の事故防止対策を更に講じてほしい。 ・南海トラフ地震等、災害時の防災対策もして欲しい。 ・災害時の生徒と保護者の連絡方法は大丈夫か。 ・省資源の観点から、極めて大切と考える。良いことである。
	授業中、部活動中、登下校中(特に自転車)の事故防止	・授業中の事故 0 件 ・登下校時の自転車事故件数 2 割減 ・職員対象の AED 講習会の実施 ・校内活動中に熱中症重症者を出さない。 ・「保健だより」毎月発行	A	A	
	防災対策の充実	・C ラーニング、Google クラウドによる防災連絡ツールの活用（緊急連絡）訓練の実施 ・防災訓練を年 2 回実施	A	A	
	学校施設の環境保全	・「ごみの分別・削減・環境を守る行動をしている」と答える生徒の割合：85%	A	A	
	感染症の予防	・「毎日の健康観察や手洗い・手指消毒・換気を行っている」と答える生徒の割合：85%	A	A	

様式第 5 号

イ	欠席、遅刻、早退の減少	・欠席数が過年度平均の 8 割以下となることを目指す。	B	B	・欠席理由の分析が重要ではないか ・欠席・遅刻・早退そのものは必ずしも問題ではなく、その背後で生徒が抱えているものが問題である。「問題のある欠席・遅刻・早退」かどうかを見極めていくべき。 ・困難に直面している生徒には、遠隔授業での出席や通信制高校への転学等、多様な選択肢があることを面談等で伝えることが重要だと考える。
	メンタル問題による不登校、転退学の減少	・「学校生活に満足している」と答える生徒の割合：80%	A		
	部活動の充実、成績の向上	・「部活動が充実している」と答える生徒の割合：75%	A		
ウ	主体的、対話的で深い学び、アクティブラーニングの推進	・全教員が講義形式に依らない授業展開の工夫を実践する。(各自学期に 1 回以上)	A	A	課題を見つけて解決に向けて探究していく学びづくりを更に深めて欲しい。
エ	SSH 新制度の研究	・年間の指導計画と評価法を検証する。 ・本校の SSH の在り方、方針を共有する。年間の指導計画と評価法を検証する。	A	A	生徒自らが課題を見つけて、その解決に向けてどのような学びの充実が図れるか。(外部との連携もその一つ) 中学生対象の自然科学の講座は素晴らしい。大変誇らしく思う。
	SSH 活動の深化	・「課題研究を中心としたSSH活動は有意義である」と答える生徒の割合：80% ・不思議実験講座受講後、「理科がより好きになった」中学生の回答：3.5 点(4 点中) ・国立遺伝学研究所等への訪問は有意義だった」と答える生徒の割合：80%	A		

様式第5号

	「行きたい学校づくり」推進事業の充実	・他4校と連携した探究活動（生徒が関わる実践）：2回以上 ・2年普通科における大学生等との連携：各クラス2回以上 ・2年理数科における専門家との連携：各グループ3回以上 ・「課題研究を中心としたSSH活動は有意義である」と答える生徒の割合：80%	B	B	・全5校が各々特徴があるので、各校独自で進める事の方がスムーズと思う。 ・よくやっていると思う。評価Bでなくともよいのではないかな。
オ	基礎学力の定着（校内学力試験の利用）	・今年度の評価結果について分析する。 ・テスト返却1週間後の個票返却 ・「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合：85% ・「指導のレベルに満足している」と答える生徒の割合：90%	A	A	・成績下位層のケアについても考えてほしい。
	個に合った適切な進路指導、進路面談の充実	・進路に関する保護者会を実施。目標参加率：80% ・オープンキャンパスへの2年次までの参加：90% ・「進路実現に向けての1年間の自身の取組に満足している」と答える生徒の割合：70% ・「新旧担任連絡会や校内進路検討会が進路指導に役立った」と答える教員の割合：80% ・「進路講演会が生徒や保護者の進路理解に役立った」と答える教員の割合：80% ・「プロフェッショナルと語る会は有意義だった」と答える生徒の割合：80% ・「将来の進路について考えている」と答える生徒の割合：80% ・「大学・研究所等の訪問は意義があった」と答える生徒の割合：75%	A	A	・個々の特性に応じた多様な進路選択ができるように進路面談等の充実を図って欲しい。

様式第5号

	個の実力にあった文理選択（1年生）	・「学校で発行された『進路ノート』、『進学資料&合格体験記』、『最新大学情報』は進路を考えるうえで参考になった」と答える生徒の割合：75% ・不本意な文理選択となる生徒を出さない指導を行う。	A	A	・不本意な選択とならないよう、十分な面談等を行ってほしい。
カ	生徒会活動、ボランティア活動の充実	・「学校祭に満足した」と答える生徒の割合：80% ・各部活動で1回以上ボランティア活動をした割合：80%	A	A	・地域住民に関わるボランティアをすべての部活動で実施してほしい。（町内の清掃活動などでもよい）
	研究旅行の充実	・「充実した研究旅行になった」と答える生徒の割合：80%	A	A	
キ	BYODによるICTを活用した授業の実践	・教育用アプリ（ジャパンナレッジスクール、ロイロノートなど）の活用：90%	A	A	・ICT活用の充実は素晴らしいと思う。
	HP、広報活動によるアドミッション・ポリシーの実現	・探究活動を中心に教務部記事を月1回のペースで掲載する。	A	A	
ク	休暇取得促進日の設定	・休暇取得促進日に休暇を取得できる職員の割合：90%	A	A	・トータルで十分な休養の時間を取ってくれば良いのではないかな。 ・民間とは異なる部分もある。魅力ある職場づくりの努力を望む。
	業務の見直し、スクラップの推進	・印刷紙の使用量1割減を目指す。 ・19:30以降残留する職員が減少するように業務の割り振りを改善する。	A	A	
ケ	事務室運営の効率化	・前年度時間外勤務実績の縮減	A	A	

様式第 5 号

	法令順守の徹底	・会計監査・検査における指摘等 1 件以下 ・学校徴収金等の徴収、決算報告等に係る保護者への通知を確実にかつ適時に行う。 ・個人情報の適正な保管による紛失及び漏洩事故 0 件	A	A	
	安全安心な教育環境の維持	・月 2 回以上の施設点検と法令点検指摘箇所の速やかな改修 ・施設・設備に起因する事故 0 件 ・学校経営予算の計画的な執行	A		

・予算が厳しいことは理解する。出来る限りのことはしてあげたい。